



クラリスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院

CFNJ NEWS

2016年11・12月号

NO.165

「万軍の神よ。どうか、帰って来ててください。天から目を注ぎ、よく見てください。そして、このぶどうの木を育ててください。」(詩編80篇14節)

「聖霊様の働き」

このぶどうの木を 育ててください！

「万軍の神よ。どうか、帰って来てください。天から目を注ぎ、よく見てください。そして、このぶどうの木を育ててください。」(詩編80篇14節)

学院理事長・アマミスタ・デ・モントレ教会牧師・
エピセントロ聖書学院創立者

ロドルフォ・ガルサ師



日本との出会い

神様は超自然な事を成されるお方です。そして、このお方は、今も昔と同じです。同じような驚くべき御業をなされています。私が初めて日本に来たのは今から25年前になります。それ以来、日本という国は私にとって、とても大切な国となりました。私が5歳の時に、初めて両親が、私をメキシコからアメリカに連れだしました。そのとき私はアメリカには行きたくありませんでした。メキシコが好きだったからです。でもその事で、幼い時に英語を覚え、おかげで私は今も世界中で説教が出来るようになりました。神様に感謝しています。それから私は8歳の時に新聞配達の仕事をしました。その時に初めて日本人に出会いました。配達先の家に日本人が住んでいました。当時、その家の裏には「スルメ」が干してありました。私はその嫌な臭いがするものは何だろう？という不思議に思っていました。

その日本人はとても親切で、いつも私にチップをくれました。それが日本に対する最初の印象です。その当時は、勿論、将来に私が日本に行くことや、日本で神様に仕えるようになるなどとは考えもしませんでした。でも神様の計画は私を日本に遣わす事でした。この25年の間、私は10年間を日本で過ごし、又、毎年のように日本に来て、そして今では「スルメ」も大好きになりました。神様は不思議な事をなされます。そして、確かなご計画をお持ちです。聖書には「神は私たちを世界の基の置かれる前からキリストのうちに選び」(エペソ1章4節)とあります。そして目的を持って導いておられるのです。その目的は私たちを神様の栄光の姿に造り変えることです。

ぶどうの木を育ててください

詩篇80篇の4節に、「万軍の神よ。どうか、帰って来てください。天から目を注ぎ、よく見てく

ださい。そして、このぶどうの木を育ててください。」(詩篇80篇14節)という御言葉があります。この御言葉は、神に向かっての叫びの言葉です。まず作者は「万軍の神よ。」と呼びかけています。これは当時の状況がどのような状況かを教えています。先ず敵が存在していました。そして、その敵との激しい戦いの中にありました。今も同じです。私たちにも敵がいます。それは罪とか誘惑するものです。そして、それらのもと今も激しく戦っています。でも私たちの神は力強いお方です！万軍の神様です！神にあって勝利が約束されています。しかし、詩篇の作者は続けてこう言います。「どうか、帰って来てください。」「戻って来て下さい。」これは敗北的な告白です。神様が去ってしまったかのような状況です。神様が見えない状態です。こうなった理由はどこにあるのでしょうか？罪に対する弱さのせい？それとも敵の力があまりにも強い為？とにかく詩篇の作者は、このままでは完全に負けてしまうと危機感を感じています。「どうか神様！戻って来てください！」このような叫びは、今の私たちの叫びでもあります。皆さんは神学校に入学しました。ここでの学びや生活が始まりました。その中でも同じような叫びがあるかもしれません。「神様！わたしの力は弱く、足りません！」「どうか助けてください！」「あなたがいなければ不可能です！」そのように感じる事が起こるのです。これはすべてのクリスチャンの叫びでもあります。私たちには神様の助けが必要です！そして、更に4節の後半に続きます。「天から目を注ぎ、よく見てください。」(4節後半)この日本語の訳はとても良い訳です。ただ見るのではなく「良く」見てくださいと言っています。それは天からの視点です。神様の目です。神様は天からすべてをご覧になっておられます。私たちの周りの状況、私たちの置かれている現状、私たち自身の事も含めて全てです。神様の目から隠されるものはありません。神はすべてをご覧になっておられます。こ

のような心を持ちましょう。神様の前に正直にありたいものです。それはとても安心感を感じることです。神様の守りを感じることです。そして詩篇の作者は最後にこう言います。「そして、このぶどうの木を育ててください。」これは願いの言葉です。この詩篇の作者の思いは「ぶどうの木」が正しく成長することでした。それは霊的な面で、そして、知的にも、又、健康的に大きく成長できるようにということです。ですからこの詩篇の御言葉は、ヨハネの福音書の15章にあるように、神が農夫となって、私たちの所に来てくださり、私たちの土地を耕し養ってくださいという願いです。私たちもそのように願いましょう！神様は農夫となって私たち所に来られます。そしてその農場を行巡りながら、その土地をきれいにしてくださいます。先ず、枯れた枝葉を取り除いてきれいに掃除をしていき



ます。そして、いらぬ枝を刈り込んでくださいます。「これはいらぬ枝だ！」「これは邪魔なものだ！」そのように言いながら良く成長できるように整えて下さるのです！実はこれが聖霊様の働きなのです。そして、この働きはこれで終わりではありません。実を見る為のものです。農夫は良く成長した枝からぶどうの実を刈り、収穫して行きます。そして、収穫したぶどうを1つのカゴに集めます。それがこの学院です！みなさんはそれぞれの教会から産みだされたぶどうの実なのです。その実である皆さんがこの学院の中に集められたのです。農夫はそのぶどうの実を大きなカゴの中で踏んでいきます。足でつぶしていきます。それが学院生活で味わう訓練です！同部屋の兄弟に対して我慢できないことがあるかもしれません。もう耐えられないということがあるかもしれません。でも踏まれるのです！潰されるのです！そのような経験を経ながら、私たちの周りにある殻は破れて、ぶどうは1つになっていくのです。混ざり合って、1つの香り、味となっていくのです。でもそれで終わりではありません。そのぶどうは寝かされるのです。1年、2年、又、数年から何十年ということもあります。そして、小分けして瓶に詰められ、更に寝かされます。それがあまりにも長いので、もう周りから忘れ去られてると思う事があるでしょう。「もう誰も自分を必要としていない。」「誰からも愛されていない。」とってしまうかもしれません。でも神様は忘れていません。神様は憶えておられるのです。

ヨセフの人生

ヨセフがそうでした。ヨセフの人生は忘れられた人生でした。長い間、寝かされ忘れ去られた人生でした。しかし、ある時、そのぶどう酒の瓶は蔵から持ち出されました。ついに飲まれる時が来たのです。そのワインは宮廷に運ばれました。そしてワインの蓋はエジプトの王パロの

前で開けられたのです。そしてパロは、そのワインを飲みました。ヨセフは王の見た夢の解き明かしをしました。ヨセフはエジプトをどのように治めていくかという知恵をパロの前で披露したのです。それを聞いた王は驚きました。「わたしの国にはこのようなワインが必要なのだ！」やがてヨセフはエジプトの王に次ぐ位に着くことになりました。同じような事が私たちの人生にも起こるのです。神が私たちの人生に訪れてくださいます。それは何か手を置かれて満たされるというような感じではなく、もちろんそのような経験もあるでしょうが、時間をかけて、刈り取られ、潰され、絞られ、そして時間をかけて寝かされる。そのような経験なのです。それはあまり好ましいと思わないかもしれません。しかし、私たちが養われ、良いぶどう酒となるための大切なプロセスです。

聖霊様のご計画

私が5才の時に、メキシコからアメリカに連れて行かれた時、私はとても嫌でした。私の叫びは、「早くメキシコに帰りたい！」「戻りたい！」という叫びでした。なぜ？このような思いをしなければならぬのか？どうして英語を憶えなければならぬのか？そんな思いでした。でもそれは私が理解していなかったからです。分からなかったからです。ヨセフも同じでした。ヨセフもなぜ自分がこのような目に合わなければならぬのか？私はただ父と一緒に居たいだけなのにと感じていました。しかし、神様には計画があったのでした。それは力強い計画でした。国を救う計画でした。そして彼の国だけではなく他の国をも救う計画でした。エジプトやその他の多くの国の救いに関わる計画でした。しかしその計画を成し遂げるためには、ヨセフはそのプロセスを通らなければなりませんでした。それが聖霊様のご計画なのです。聖霊様は皆さんの中に働いて、今、皆さんの内にあるものを

変えておられます。皆さんがここを卒業して出ていく時に、入学した時とは完全に換えられて出ていく事でしょう。このようにして神様が働かれるのです。神様は皆さんがその働きを始められるように、みなさんの内で準備されているのです。■



霊の父、「キャロル・トンプソン博士」召天される!

アメリカのテキサス州にある学院の母校、CFNI聖書学院で44年間、教鞭を執られ、過去、学院長も務められた「キャロル・トンプソン博士」(82歳)が、2016年9月26日に、天のお父様の御元へと凱旋されました。キャロル・トンプソン博士は、以前、日本校でも教えられました。以下、生前の博士の歩みをご紹介します。

トンプソン博士は、地上におられる間、毎日、主と共に歩まれ、今は、主の臨在の中で満ち満ちておられます。博士は、1934年5月13日、テキサス州ヴィールモアの、泥と藁(わら)で出来た日干し煉瓦造りの家でお生まれになりました。トンプソン博士は、奥様である「ジョイス・ペリー夫人」と1960年に会われ結婚されました。博士は19歳の時から御言葉を語り始め、その後、牧会の働きもされました。奥様と共にブラジルで10年間宣教師としても働かれ、教会を建て上げ、アマゾン奥地まで御言葉を届ける為の神学校も建て上げられました。1972年かのCFNIで教え始められ、召される直前の44年間、教鞭を執られました。その働きは全世界に行き渡り、35か国を訪れ、CFNIで学生を通して約95か国にインパクトを与える働きをされました。

博士は、今までいろいろ名前と呼ばれてきました。牧師、ミニスター、伝道者、宣教師、預言者、使徒、教師、友達、息子そして夫。しかし一番よく知られている呼び名は「父」です。トンプソン博士と奥様の間には6人の子供がおられますが、その家庭を、何千人もの人に開放してきました。トンプソン博士は人々に仕えることに献身し、何千何百という人々から霊的父として慕われてきました。博士は人を愛していました。いつも人のため時間を作り、彼らのために祈り、カウンセリングをし、あるいは、ただ耳を傾ける事をしました。博士はイエス様のような事に努め、人としてでき得る限りイエス様に近づいた人です。

心からの哀悼をお祈りいたします。



学院で行われた葬儀の様子



WORLD PRAYER SHARE LETTER

愛するとりなし手の皆様へ 世界の為の祈り

チャールズ&ダイアンより



プレイズ・レポート！

中国

■中国政府は今、中国の寂しい高齢者を助ける驚くべき人材ソース（源）を体験しています！

統計では、80歳以上の中国人が2021年までに9400万人以上になります！この増大する高齢者人口は、社会（特に高齢者の子どもたちにとって）に負担をかけますが、この中国のお年寄りが、教会にたくさん参加すればするほど、驚くような解決策が与えられています。

中国の教会のリーダー（リー・ジャン・シャン）は、「私は、年配者のためにこの働きを始められて、たいへんうれしいです。」と言っています。地域社会のメンバーを知ることは、教会により大きな機会を与えます。シャンはまた、「年配者の子供たちが両親と教会に行き始めています、そして、これはイエスの福音を若い未信者たちに知らせる一つの方法なのです。」と言っています。ある中国人の年配者（ツァオ・リー）は言いました。「教会に来る前は、子どもたちが遠くにいるとき私は一人ぼっちで、孤独がとても怖かったです。今では、私は教会の年配の方たちに囲まれています。教会で楽しんでいます。そして神を知るようになりました。」

中国のクリスチャン・コミュニティが、中国社会の大切な世代と福音を分かち合う道が開けるように、神に感謝の祈りと賛美を共に捧げましょう！

(www1.cbn.com/cbnnews/world/2016/may/Chinese-govt-turns-to-surprising-source-for-help)



ヤロヴァヤ法が制定される！

ロシア

■ウラジーミル・プーチン大統領により制定された「ヤロヴァヤ法」に対し

て信者たちが神に叫び求めています！

ロシアの何千もの教会は、クリスチャンの信仰の自由をひどく制限するこの法律に関して祈るために共に集まり、断食して祈っています。ヤロヴァヤ法は、ロシアのテロと過激主義の広がりを制限することを意図していますが、教会指導者たちは、この法律は教会の外で行われるいかなる種類の宗教的福音伝道をも罰するだろうと言っています。たとえば、外国人宣教師たちは、ロシア当局からの労働許可がない限り、教会で話すことを許されません。また、未信者との神についてのどのようなディスカッションでも宣教活動とみなされ、法律による処罰に値するとされます。実際、14才の若者が説教しているのを発見された場合、その若者が誰であれ処罰される可能性があり、個人宅での宗教活動は許可されません。その結果、多くの信者が亡命し、信仰のゆえに罰を受けさせられるようになるでしょう。ヤロヴァヤ法によって、教会は非常に難しく、危険な立場に置かれ、ロシアをKGB時代へと引きもどすこととなります。最新情報は下記ウェブサイトまで。

(<http://www1.cbn.com/cbnnews/us/2016/august/franklin-graham-cancels-christian-world-summit-in-moscow>)

チャールズ&ダイアン・グリコからの
祈りのリクエスト

アメリカ

■世界的なクリスチャン・リーダーたちだけで

なくアメリカのクリスチャン・リーダーたちも、アメリカがその歴史の臨界点にあると認識していて、その将来はよかれあしかれ、間もなく行われる2016年11月の大統領選挙の結果によって決まるでしょう。アメリカは、国の負債が19兆ドルに達するのを許したように、選択による中絶を許す立法を生み出し、教育制度から祈りと神の言葉を締め出して禁止し、そして同性愛と同性間の「結婚」を合法化して、道徳及び経済の低下を続けるのでしょうか？

アメリカの有権者たち（特にクリスチャン）が、11月の投票の前に、彼らの支持する政治団体の『政綱』を注意深く検討するように祈ってください。大部分のアメリカ人が民主党と共和党の党公認大統領候補を両方ともに「好ま

しくない」と見ているように思えるとしても、これら二つの政党の政綱*には非常に大きな違いがあります。（* 政党の諸原則および政治指針）民主党（ヒラリー・クリントンに代表される）は、その政綱のなかの諸原則においてあらゆる神についての言及を取り除く票決をしました。これは、非常に「自由主義（リベラル）」であり、聖書の真実を認めません。共和党（ドナルド・トランプに代表される）は、聖書の真理にずっと近く、中絶反対（中絶公認を拒否しています）であり、結婚を1人の男性と1人の女性との結合として考えており、神の存在および国家の日々の営みのうちにある神の影響を認めています。彼らの国の罪を赦しその民を「義」へと立ち返らせてくださいと、断食をもって「天の私たちの父に嘆願して」祈っている何千もの皆さんのアメリカの兄弟姉妹たちと共に、皆さんも忘れないで祈っててください。

ナザレ－イスラエルで最もクリスチャン人口の
多い町からのニュース

イスラエル

■ナザレでミニストリーをしているギリシャ正教の司祭ガブリエル・ナ

ダフ（アルメニア人の家系）は、アルメニア人およびアラブイスラエルの若者たちに、イスラエルのユダヤ人のコミュニティライフに参加し、イスラエルの防衛軍に兵士として従軍するように励ましているために、ギリシャ正教の聖職者階級からの拒絶とアラブイスラム教徒からの殺しの脅迫に直面しています。なぜ、ナダフ司祭は、若者たちがこうした勧めに従うよう励ましているのでしょうか？彼は、キリスト教のルーツがユダヤ教にあることを知っているのだから、すべてのクリスチャンはユダヤ人たちを助けて、全中東における平和と安全の唯一の安全な避難所である国（イスラエル）を守るために一緒に立ちあがるべきであると信じています。（* 編集注記：大量虐殺およびイスラムの迫害のため、中東のクリスチャンの数は最低記録にまで減少しましたが、イスラエルはキリスト教が増加している中東の唯一の場所です。）

(www.cbn.com/cbnnews「イスラエル」および「この国は中東における唯一のクリスチャンの安全な避難場所」をクリック。)

祈りましょう！

■ナダフの安全のために。また、イスラエルの国を守り助けるためにあらゆる国籍の若い信者たちが一致するという彼の目標が成功するように祈りましょう！

入学



2016年9月5日（月）午前9時より



■入学式の2週間前まではこの聖書学院の存在すら知らなかった私ですが、神様の不思議な導きによって、まるで電光石火のように入学することが出来ました。次々と扉が開かれて、トントン拍子に道を進めて下さった主に感謝致します。学院では、やがて現場へ戻るまでに、クリスチャンとして正しい生活を確立しつつ、リーダーシップ、仕える心、聖書の奥深さの追究、説教者としての準備、その他必要な知識を得たいと考えております。そして、私にしかできない確かな召命をいただいて世に出て行きたいです。

蒲谷 結基（神奈川県・32期生）



■ハレルヤ！主の御名をほめたたえます！神様はどんな私も片時も見捨てず、見離さず、たくさんの愛と恵みを注いでくださいました。神様の愛を受け取り、神様のために自分の全てを捧げて生きることを決心しました。その決心を与えて下さったのは神様であり、道が開かれ、無事にこの学院に入学しました。この学院に導いてくださった神様に、心から感謝しています。また、ここまでの道のりをお祈りしてくれた方々にも心から感謝し、祝福をお祈り致します。これからも最善しかありません。神様に信頼して、ただ信仰によって神様と共に真っ直ぐ歩んでいきます！

小埜 愛美

（栃木県・32期生）



卒業・修了

2016年7月1日（金）午前9時より





■大阪の地より 2014年9月から、この北海道石狩にあるCFNJにお世話になり、この度、2年間の学びを終える事が出来ました。ただ、主に感謝します。63才の私には、20才位の若い方々と一緒に学ぶ中で、「初めの愛や純真な思い」を再び思い起こさせられました。ハレルヤ！また、学院での主にあつての働きに感謝します。学院の法人運営にたずさわっておられる諸先生方、並びに鍛冶川先生・紀子先生・スタッフの坂本夫妻・村谷さんありがとうございました。なに不自由なく学院生活を送る事ができた事に感謝いたします。

石井 敏一（30期生）



■主に導かれて若い方たちと共に過ごした2年間、良い刺激を受け励まされました。素晴らしい環境で学ぶ事が出来、多くの実践的な学びを通して内面を取り扱っていただいたことを喜んでいきます。「わたし自身が一緒に行くであろう。そしてあなたに安息を与えるであろう」と、このみ言葉の通りいつも主がともにいてくださり、学院生活を導いてくださって、無事卒業出来ましたことをほんとうに感謝いたします。お世話になりました学院長はじめ教えてくださった先生方、スタッフの皆様ほんとうにありがとうございました。主のみ名に栄光がありますように！

石井 洋子（30期生）



■CFNJ聖書学院では、聖書の様々な学びに限らず、聖霊の働きについて、また、真の礼拝者としての賛美、礼拝について深く教えられました。特に毎朝の賛美礼拝は、御霊の臨在に浸れる貴重な時間でした。個人的には、CFNIでさらに学ぶため、この夏ダラスに向かいますが、私たちの思いをはるかに越えた方法で神様はご計画を着々と進められることを体験しました。神様がどのような道をこの先用意されているのかわかりませんが、ワクワクする思いで楽しみにしております。私はただ神様の大船に乗るだけ。御心のままに従って参ります。

堀本 正美（30期生）



■ハレルヤ、恵み深い主の御名をほめたたえます。入学から20年、復学してから2年、やっと1年コースを修了することが出来ました。この間、本当にたくさんの方々の励まし、祈りに支えられました。心から感謝します。また、サポートしてくれた家族にも感謝します。学院は、祝福と恵みの日々で充実した日々でした。たくさんの尊い学びを教えて下さった先生方、スタッフの皆様、また子供の行事や主人の病院で休みがちな私をサポートして下さいました。本当にありがとうございました。ハレルヤ。神様、ありがとうございます！

森本 薫（12期生）

牧師夫妻交流会



■ 去る9月12日（月）の午後、学院では、創立者のグリコ夫妻と理事長のガルサ夫妻をゲストに、日頃お世話になっている諸教会の牧師夫妻をお招きして、牧師夫妻交流会を開催することができました。グリコ夫妻のご挨拶や、ガルサ牧師のメッセージと祝福の祈りに励まされた参加者一同は、予定の時間が過ぎてもなお、互いに分かち合いながら、楽しく、親しい交わりが途絶えることなく、とても有意義な、祝福された時を過ごすことができました。はるばるアメリカやメキシコから、祝福を携えて来てくださったグリコ夫妻とガルサ夫妻、又、お忙しい中、都合をつけて参加してくださった諸先生方、ありがとうございました。学院はいつでも諸教会の皆様と共に、互いに祈り合い、協力し合って前進してまいりたいと願っております。今後ともどうぞ、よろしくお願いいたします。



献金の感謝とご支援のお願い！

2016年もまもなく、終わりを告げようとしています。今年も一年間、神様の恵みと皆様の支えにより、滞りなく、業務を推し進めてくることができました。心より、熱く御礼申し上げます。

ただ、ここ数年、学生数が減少傾向にあり、来年度の予算を立てる上でも、大変厳しい現状であることを実感しております。学生数が増えることが一番の願いですが、日本国内からのご支援が増えて、やがては経済的にも自立していくことが学院の目標です。来年度の運営資金及び学生獲得のためのプロモーション活動の費用などが、十分に満たされ備えられますようお祈りくださるとともに、引き続き温かいご支援を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。皆様方お一人お一人の上にも主の恵みと祝福が豊かに注がれますよう、心からお祈りいたします。主にありて！

学院長 鍛冶川 利文



2016年度

CFNJ 特別講義 ゲストスピーカー

3学期 授業がキュラムスケジュール

(2017年1月10日(火)~3月3日(金)迄)

「幸いなことよ。全き道を行く人々、
主のみおしえによって歩む人々。」詩篇 109 篇 1 節

2017年、新年度より

CMPコースが復活します!

2007年度に開講された学院のCMP(チルドレンズミニストリー&ペアレンティングコース)は、諸事情により、一時休講となっていました。来年度4月から、このミニストリーのスペシャリストである、**アルマ・ベルメホ師**(詳細は講師紹介の項をご参照ください)を専任講師に迎えて、再び、開かれる運びとなりました。以前、このコースを受講した学生たちや在校生たちからも、ぜひまたCMPコースを開講してほしいとの声が上がリ、祈ってきましたが、このたび6年ぶりに来校されたアルマ師にその旨を伝え打診したところ、快諾を得ることができました。ハレルヤ!主に感謝します。

このCMPコースは以前と同様、一週間の15時間の授業のうち、10時間は一般コースと同じ授業を受け、3時間目に、CMPの専門の授業を5時間受けるというもので、一学期中に55時間前後の授業を受けることができ、午後にはこのコース独自の実践的プログラムも導入される予定です。又、夏休み期間を利用して、親と子、教師のためのセミナーや2泊3日の親子キャンプ(仮称 Kids' for the nations)の計画も、祈りのうちに進められています。

入学金、受講料などは一般コースと同様です。近隣にお住みの方は、このCMPの3時間目のクラスだけを選んで聴講することも可能です。来年度の入学をお考えの皆さん、このCMPコースへの入学も視野に入れて、お祈りください。皆さんのご応募を心よりお待ちしております。

アルマ・ベルメホ師

LRM(Latter Rain Ministries・後の雨ミニストリー)にて按手を受け、現在、海外におけるLRMの代表として、世界40カ国以上で子どもと家庭に対するミニストリーのために用いられている、使徒的な器です。



1・2年コース(必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 AM9:15~10:10	新約聖書概論Ⅲ 金 聖圭 岡田留美子	聖書的な家庭Ⅱ 岡田留美子	マルコの福音書 金 聖圭	セルグループ 三浦雅範	異端と現代 松原望
2 AM10:30~11:25					
3 AM11:35~12:30	説教学Ⅱ 鍛冶川利文	宣教学 G. グドール		説教学Ⅱ 鍛冶川利文	今日のイエス・キリストの奇跡 J・ジャンセン

アルプスコース(必修科目)

1 AM9:15~10:10	祈りⅡ 田中博	教会カウニングⅢ 小栗昭夫	教会教育 益田良一	伝道牧会 石田吉男	五役者の学び 岡田好弘
2 AM10:30~11:25					
3 AM11:35~12:30	聖書の言語 金 聖圭	宣教学 G. グドール		上級説教学 松原望	

選択科目

午後 PM13:30~15:30	英語クラス 坂本 麗名	タンバリンクラス 鍛冶川紀子	ボイストレーニング 新井田路子	実習 (必修)	ドラマ演劇 クラス 鍛冶川紀子
		ピアノクラス 新井田路子			



2017年1月16日(月)~20日(金)迄

米村英二師

熊本県、大津キリスト教会牧師・学院顧問。

全体/1・2時間目

●ゲストスピーカーの授業は、どなたでも無料で聴講出来ます。(自由献金制、テキスト代有料)通常の授業も聴講出来ます。(有料)又、入学を検討されておられる方には、無料体験入学制度もありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

10月13日(木)午後

実習活動報告!

7名の魂が救われる!

■晴れた秋空のもと、学院生は札幌市の中心部、「大通り公園」に出て行き伝道活動を行いました。タンバリンやスキットを披露し、その後、路上にてトラクト配布を行いました。多くの人々と関わる中で、何と! 7名の方(浪人生の男性、女子高生2人、若い女性、年配の夫婦、中年の女性)が、イエス・キリストを主と告白し信じ福音を受け入れ救われました! ハレルヤ! 伝道から戻った学院生たちは、口々に、「このようなことが起きたのは、日本の諸教会の断食と祈りによって起きているものであり、日本に収穫の時が来ている!」と告白しました。

今後、日本のリバイバルのために、また学院生のためにお祈りください!



伝道の様子



スキットを熱心に見入る人たち



福音を伝える学生たち



札幌市大通り公園でのスキット

あなたも学院で学んでみませんか?

2017年、1月・4月からの 新入生募集中!

(各学期からも入学できます)



アルプスコース
1・2年コース
短期コース
通信・聴講制度

ホームページをご覧ください!
cfnj.com

- ★演劇・ドラマコース
- ★タンバリンクラス
- ★ドラムクラス
- ★ピアノクラス
- ★英語クラスほか

体験入学も可能です。授業料、宿泊費、食費込み ※詳しい資料ご希望の方は、学院事務局までお知らせ下さい。

CFNJ CD販売・刊行物

無料プレゼント! ゴードン・リンゼイ (復刻改正版)

不治の病と言われた難病である、筋ジストロフィー症からの奇跡の癒し!



感謝の証し「神の指がふれた時」
朗読CD
定価/1枚(CD) (送料別) 700円



「神のみことばのいやしの力」
朗読CD
定価/1枚(CD) (送料別) 1,000円

創世記から黙示録までのいやしに
関するみことばの朗読のCD



「山をも動かす祈り」



「いやしの信仰」[聖霊のバプテスマを受けるには]
驚くべき憐れみに満ちた人生の証



「主の恵み尽きることなく」

副学院長 鍛冶川 紀子著

●お申し込みは/学院事務局まで

※サンプルは、右記のページで聴くことができます。 <http://www.cfnj.com/media.html>



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
●e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

